

平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業） 臨床研修アンケート中間解析結果

対象：2011 年度 2 年次研修医

回答者数：4715 名

表 1. 研修病院の年間入院数と研修医数 (n=4,715)

所属する研修病院の年間入院数, 人	研修医数, 人 (%)
<= 3000	36 (0.8)
3001 - 5000	185 (3.9)
5001 - 7000	285 (6.0)
7001 - 10000	797 (16.9)
>= 10000	3412 (72.4)

表 2. 研修医の特性

	年間入院数 3,000 人未満 (n=36)	年間入院数 3,001 人以上 (n=4,679)	全体 (n=4,715)
年齢, yrs, m (SD)	29 (4)	27 (6)	27 (6)
性別, n (%)			
男性	24 (66.7)	3,019 (64.5)	3,043 (64.5)
女性	12 (33.3)	1,660 (35.5)	1,672 (35.5)
研修病院形態, n (%)			
大学病院	0 (0)	2236 (47.8)	2,236 (47.4)
臨床研修病院	36 (100)	2443 (52.2)	2,479 (56.6)
必須科目保持プログラム所属, n (%)	26 (72.2)	1,450 (31.0)	1,476 (31.3)

表 3. 年間入院数 3,000 人以下と 3,001 以上の病院に所属する研修医間比較の概要

到達目標の自己評価		N (%) 3000 以下	N (%) 3001 以上
年間入院数 <u>3000 人以下</u> の施設に所属する研修医において、「確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる」の割合が有意に高い項目 (3 項目)	医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる	82.9%	58.5%
	高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる	97.1%	77.5%
	診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる	100.0%	88.4%
年間入院数 <u>3001 人以上</u> の施設に所属する研修医において、「確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる」の割合が有意に高い項目 (1 項目)	カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる	76.2%	92.7%

経験症例数		N (%) 3000 以下	N (%) 3001 以上
年間入院数 <u>3000 人以下</u> の施設に所属する研修医において、「6 症例以上」経験した割合が有意に高い症例 (6 項目)	不眠	100.0%	83.0%
	腰痛	100.0%	87.4%
	骨折	88.6%	73.0%
	妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥)	80.0%	58.7%
	慢性関節リウマチ	66.7%	42.4%
	死亡診断書	66.7%	38.3%
年間入院数 <u>3001 人以上</u> の施設に所属する研修医において、「6 症例以上」経験した割合が有意に高い症例 (2 項目)	急性冠症候群	59.1%	79.6%
	動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)	66.7%	84.5%

表 4. 年間入院数 3,000 人以下と 3,001 以上の病院に所属する研修医間の各項目比較

*の説明

S	年間入院数 3000 人以下の施設の研修医が有意に自信があるもの（「できる」の割合） または、症例数が多いもの（「6 症例以上」）
L	年間入院数 3001 人以上の施設の研修医が有意に自信があるもの（「できる」の割合） または、症例数が多いもの（「6 症例以上」）
○	施設間に差がないもの

到達目標の自己評価

項目		全体	3000 以下	3001 以上	P 値	*			
患者の解釈モデルを聞きだすことができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1066	98.7%	21	100.0%	1045	98.7%	.596	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	14	1.3%	0	.0%	14	1.3%		
患者の病歴を系統的に聴取できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4545	98.3%	35	100.0%	4510	98.3%	.440	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	77	1.7%	0	.0%	77	1.7%		
患者と非言語的コミュニケーションができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1032	95.5%	20	95.2%	1012	95.5%	.959	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	49	4.5%	1	4.8%	48	4.5%		
バイタルサインを取ることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4576	99.0%	35	100.0%	4541	99.0%	.560	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	44	1.0%	0	.0%	44	1.0%		
皮膚の所見を記述できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	810	75.0%	14	66.7%	796	75.2%	.373	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	270	25.0%	7	33.3%	263	24.8%		
眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	314	29.0%	5	23.8%	309	29.2%	.593	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	767	71.0%	16	76.2%	751	70.8%		
鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2522	54.6%	18	51.4%	2504	54.6%	.706	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2098	45.4%	17	48.6%	2081	45.4%		
甲状腺の触診ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3512	76.0%	25	71.4%	3487	76.0%	.528	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1111	24.0%	10	28.6%	1101	24.0%		
心尖拍動を触知できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4067	87.9%	31	88.6%	4036	87.9%	.908	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	558	12.1%	4	11.4%	554	12.1%		

心雑音を聴取し、記載できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3894	84.2%	26	74.3%	3868	84.3%	.107	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	731	15.8%	9	25.7%	722	15.7%		
ラ音を聴取し、記載できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4247	91.8%	33	94.3%	4214	91.8%	.597	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	377	8.2%	2	5.7%	375	8.2%		
筋性防御の有無を判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1032	95.6%	20	95.2%	1012	95.6%	.943	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	48	4.4%	1	4.8%	47	4.4%		
直腸診で前立腺の異常を判断できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2606	56.4%	20	57.1%	2586	56.4%	.926	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2017	43.6%	15	42.9%	2002	43.6%		
妊娠の初期兆候を把握できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2280	49.3%	15	42.9%	2265	49.4%	.441	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2341	50.7%	20	57.1%	2321	50.6%		
双手診により女性付属器の腫脹を触知できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	362	33.5%	6	28.6%	356	33.6%	.626	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	717	66.5%	15	71.4%	702	66.4%		
関節可動域を検査できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	633	58.8%	13	61.9%	620	58.8%	.772	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	443	41.2%	8	38.1%	435	41.2%		
髄膜刺激所見をとることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	996	92.4%	18	85.7%	978	92.5%	.244	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	82	7.6%	3	14.3%	79	7.5%		
うつ病の診断基準を述べることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2583	55.9%	23	65.7%	2560	55.8%	.241	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2037	44.1%	12	34.3%	2025	44.2%		
骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	620	57.4%	11	52.4%	609	57.5%	.638	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	460	42.6%	10	47.6%	450	42.5%		
尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2307	49.9%	19	54.3%	2288	49.9%	.604	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2314	50.1%	16	45.7%	2298	50.1%		
便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4002	86.6%	33	94.3%	3969	86.6%	.181	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	618	13.4%	2	5.7%	616	13.4%		
血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1046	97.0%	21	100.0%	1025	97.0%	.418	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	32	3.0%	0	.0%	32	3.0%		
血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4396	95.1%	35	100.0%	4361	95.0%	.176	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	228	4.9%	0	.0%	228	5.0%		

血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1063	98.4%	21	100.0%	1042	98.4%	.558	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	17	1.6%	0	.0%	17	1.6%		
血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4282	92.6%	34	97.1%	4248	92.6%	.306	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	340	7.4%	1	2.9%	339	7.4%		
簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1061	98.2%	20	95.2%	1041	98.3%	.291	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	19	1.8%	1	4.8%	18	1.7%		
血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	901	83.4%	16	76.2%	885	83.6%	.368	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	179	16.6%	5	23.8%	174	16.4%		
内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	780	72.4%	15	71.4%	765	72.4%	.924	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	298	27.6%	6	28.6%	292	27.6%		
グラム染色を行い、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	767	71.0%	16	76.2%	751	70.9%	.598	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	313	29.0%	5	23.8%	308	29.1%		
髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3684	79.7%	30	88.2%	3654	79.7%	.216	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	936	20.3%	4	11.8%	932	20.3%		
心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	931	86.2%	19	90.5%	912	86.1%	.566	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	149	13.8%	2	9.5%	147	13.9%		
肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	965	89.4%	20	95.2%	945	89.2%	.377	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	115	10.6%	1	4.8%	114	10.8%		
超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	781	72.3%	17	81.0%	764	72.1%	.372	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	299	27.7%	4	19.0%	295	27.9%		
胸部単純X線でシルエットサインを判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	981	90.9%	20	95.2%	961	90.8%	.487	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	98	9.1%	1	4.8%	97	9.2%		
腹部単純X線でイレウスを判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4330	93.7%	35	100.0%	4295	93.7%	.125	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	289	6.3%	0	.0%	289	6.3%		
胸部CTで肺癌による所見を見出すことができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3965	85.8%	33	94.3%	3932	85.8%	.150	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	654	14.2%	2	5.7%	652	14.2%		
頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	973	90.2%	21	100.0%	952	90.0%	.127	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	106	9.8%	0	.0%	106	10.0%		

手術の手洗いが適切にできる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1067	98.8%	21	100.0%	1046	98.8%	.609	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	13	1.2%	0	.0%	13	1.2%		
静脈血採血が正しくできる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1068	99.0%	21	100.0%	1047	99.0%	.639	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	11	1.0%	0	.0%	11	1.0%		
動脈血採血が正しくできる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4552	98.4%	35	100.0%	4517	98.4%	.455	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	72	1.6%	0	.0%	72	1.6%		
血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	824	76.3%	17	81.0%	807	76.2%	.612	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	256	23.7%	4	19.0%	252	23.8%		
輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	992	91.9%	18	85.7%	974	92.1%	.290	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	87	8.1%	3	14.3%	84	7.9%		
腰椎穿刺を実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3971	85.9%	30	85.7%	3941	85.9%	.970	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	650	14.1%	5	14.3%	645	14.1%		
導尿法を実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1020	94.5%	21	100.0%	999	94.4%	.266	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	59	5.5%	0	.0%	59	5.6%		
抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1002	92.8%	20	95.2%	982	92.7%	.660	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	78	7.2%	1	4.8%	77	7.3%		
局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4016	87.0%	33	94.3%	3983	87.0%	.199	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	599	13.0%	2	5.7%	597	13.0%		
傷病の基本的処置として、デブリードマンができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	768	71.3%	17	81.0%	751	71.1%	.324	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	309	28.7%	4	19.0%	305	28.9%		
皮膚縫合法を実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	960	89.1%	19	90.5%	941	89.1%	.842	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	117	10.9%	2	9.5%	115	10.9%		
術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	848	78.7%	16	76.2%	832	78.7%	.780	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	230	21.3%	5	23.8%	225	21.3%		
術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	973	90.3%	19	90.5%	954	90.3%	.973	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	105	9.7%	2	9.5%	103	9.7%		
心マッサージができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1059	98.3%	21	100.0%	1038	98.3%	.546	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	18	1.7%	0	.0%	18	1.7%		

気管挿管ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1007	93.5%	20	95.2%	987	93.5%	.744	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	70	6.5%	1	4.8%	69	6.5%		
レスピレーターを装着し、調節できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3333	72.1%	26	74.3%	3307	72.1%	.773	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1289	27.9%	9	25.7%	1280	27.9%		
電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	952	88.3%	19	90.5%	933	88.3%	.755	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	126	11.7%	2	9.5%	124	11.7%		
救急患者の重症度および緊急度を判断できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3901	84.5%	32	91.4%	3869	84.4%	.255	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	716	15.5%	3	8.6%	713	15.6%		
ショックの診断と治療ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3769	81.6%	29	82.9%	3740	81.6%	.849	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	849	18.4%	6	17.1%	843	18.4%		
末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	875	81.2%	19	90.5%	856	81.0%	.271	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	203	18.8%	2	9.5%	201	19.0%		
在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	692	64.2%	17	81.0%	675	63.9%	.106	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	386	35.8%	4	19.0%	382	36.1%		
緩和ケア(WHO方式がん疼痛治療法を含む)のチーム医療に参加できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	725	67.3%	15	71.4%	710	67.2%	.685	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	352	32.7%	6	28.6%	346	32.8%		
患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	926	85.9%	20	95.2%	906	85.7%	.214	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	152	14.1%	1	4.8%	151	14.3%		
医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2709	58.7%	29	82.9%	2680	58.5%	.004	S
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1909	41.3%	6	17.1%	1903	41.5%		
インフォームドコンセントをとることが実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4164	90.1%	34	97.1%	4130	90.1%	.162	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	457	9.9%	1	2.9%	456	9.9%		
指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4318	93.5%	33	94.3%	4285	93.5%	.851	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	300	6.5%	2	5.7%	298	6.5%		
糖尿病患者への健康教育(健康相談および指導)ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3555	76.9%	30	85.7%	3525	76.9%	.216	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1066	23.1%	5	14.3%	1061	23.1%		
日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	410	38.0%	8	38.1%	402	38.0%	.993	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	669	62.0%	13	61.9%	656	62.0%		

ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	804	74.6%	18	85.7%	786	74.4%	.237	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	274	25.4%	3	14.3%	271	25.6%		
禁煙指導ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	724	67.2%	17	81.0%	707	66.9%	.174	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	354	32.8%	4	19.0%	350	33.1%		
患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	867	80.4%	20	95.2%	847	80.1%	.084	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	211	19.6%	1	4.8%	210	19.9%		
在宅医療の適応の判断ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2593	56.1%	25	71.4%	2568	56.0%	.067	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	2028	43.9%	10	28.6%	2018	44.0%		
地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるように調整することができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	724	67.2%	18	85.7%	706	66.8%	.068	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	354	32.8%	3	14.3%	351	33.2%		
社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	707	65.6%	17	81.0%	690	65.3%	.136	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	370	34.4%	4	19.0%	366	34.7%		
診療上湧き上がってきた疑問点について、Medline で文献検索ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	895	83.0%	15	71.4%	880	83.3%	.153	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	183	17.0%	6	28.6%	177	16.7%		
カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	995	92.4%	16	76.2%	979	92.7%	.005	L
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	82	7.6%	5	23.8%	77	7.3%		
診療録（退院時サマリーを含む）をPOS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1030	95.6%	19	90.5%	1011	95.7%	.242	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	47	4.4%	2	9.5%	45	4.3%		
研究デザインを理解して、論文を読むことができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2858	61.9%	19	54.3%	2839	61.9%	.353	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1761	38.1%	16	45.7%	1745	38.1%		
学会で症例報告ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	775	71.9%	12	57.1%	763	72.2%	.129	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	303	28.1%	9	42.9%	294	27.8%		
データの種類に応じて適切な統計学的解析ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	494	45.8%	8	38.1%	486	46.0%	.473	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	584	54.2%	13	61.9%	571	54.0%		
医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	949	88.2%	18	85.7%	931	88.2%	.722	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	127	11.8%	3	14.3%	124	11.8%		

事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	943	87.5%	19	90.5%	924	87.4%	.675	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	135	12.5%	2	9.5%	133	12.6%		
院内感染対策(Standard Precautionsを含む)の基本を理解し、実施できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	991	91.9%	19	90.5%	972	92.0%	.805	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	87	8.1%	2	9.5%	85	8.0%		
高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1006	93.3%	19	90.5%	987	93.4%	.598	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	72	6.7%	2	9.5%	70	6.6%		
高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1000	92.9%	20	95.2%	980	92.9%	.678	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	76	7.1%	1	4.8%	75	7.1%		
高齢者の身体的、精神的、社会的活動性できるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3588	77.7%	33	97.1%	3555	77.5%	.006	S
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1032	22.3%	1	2.9%	1031	22.5%		
小児の精神運動発達の異常を判断できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	555	51.4%	10	47.6%	545	51.5%	.724	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	524	48.6%	11	52.4%	513	48.5%		
小児の採血、点滴ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	777	72.0%	12	57.1%	765	72.3%	.125	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	302	28.0%	9	42.9%	293	27.7%		
患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	917	85.1%	17	81.0%	900	85.1%	.593	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	161	14.9%	4	19.0%	157	14.9%		
患児の年齢や理解度に応じた説明ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3784	81.9%	29	82.9%	3755	81.9%	.879	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	838	18.1%	6	17.1%	832	18.1%		
代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	690	64.0%	14	66.7%	676	64.0%	.798	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	388	36.0%	7	33.3%	381	36.0%		
精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	2642	57.2%	23	65.7%	2619	57.1%	.306	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	1978	42.8%	12	34.3%	1966	42.9%		
精神科科・メディカルスタッフ(PSW等)の業務を理解し、連携してケアを行うことができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	788	73.2%	15	71.4%	773	73.2%	.856	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	289	26.8%	6	28.6%	283	26.8%		

地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	742	69.3%	14	70.0%	728	69.3%	.944	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	329	30.7%	6	30.0%	323	30.7%		
守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	1052	98.0%	20	100.0%	1032	98.0%	.524	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	21	2.0%	0	.0%	21	2.0%		
患者の基本的権利について説明できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	990	92.1%	18	85.7%	972	92.2%	.274	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	85	7.9%	3	14.3%	82	7.8%		
自己決定できない患者での代理決定について判断できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	930	86.5%	19	90.5%	911	86.4%	.591	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	145	13.5%	2	9.5%	143	13.6%		
診療計画(診断、治療、患者・家族への説明を含む)を作成できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4080	88.4%	35	100.0%	4045	88.4%	.032	S
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	533	11.6%	0	.0%	533	11.6%		
診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	4163	90.1%	33	94.3%	4130	90.1%	.408	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	456	9.9%	2	5.7%	454	9.9%		
基本的な臨床知識・技術について後輩を指導することができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	3844	83.2%	27	77.1%	3817	83.2%	.336	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	776	16.8%	8	22.9%	768	16.8%		
医療人として必要な姿勢・態度について後輩のロールモデルになることができる	確実にできる、自信がある・だいたいできる、たぶんできる	888	82.6%	15	71.4%	873	82.8%	.172	○
	あまり自信がない、ひとりでは不安である・できない	187	17.4%	6	28.6%	181	17.2%		

経験症例数

項目		全体	3000 以下	3001 以上	p-value				
不眠	6 例以上	3819	83.2%	36	100.0%	3783	83.0%	.013	S
	6 例未満	773	16.8%	0	.0%	773	17.0%		
浮腫	6 例以上	4032	87.5%	32	88.9%	4000	87.5%	.805	○
	6 例未満	574	12.5%	4	11.1%	570	12.5%		
リンパ節腫脹	6 例以上	762	70.8%	15	68.2%	747	70.9%	.783	○
	6 例未満	314	29.2%	7	31.8%	307	29.1%		
発疹	6 例以上	867	80.4%	19	86.4%	848	80.3%	.478	○
	6 例未満	211	19.6%	3	13.6%	208	19.7%		
発熱	6 例以上	4374	94.8%	35	97.2%	4339	94.8%	.516	○
	6 例未満	238	5.2%	1	2.8%	237	5.2%		
頭痛	6 例以上	4224	91.6%	34	94.4%	4190	91.6%	.542	○
	6 例未満	385	8.4%	2	5.6%	383	8.4%		
めまい	6 例以上	3895	84.6%	33	91.7%	3862	84.5%	.238	○
	6 例未満	709	15.4%	3	8.3%	706	15.5%		
視力障害、視野狭窄	6 例以上	1748	37.9%	14	38.9%	1734	37.9%	.904	○
	6 例未満	2862	62.1%	22	61.1%	2840	62.1%		
結膜の充血	6 例以上	453	42.1%	9	40.9%	444	42.1%	.912	○
	6 例未満	624	57.9%	13	59.1%	611	57.9%		
胸痛	6 例以上	4110	89.1%	31	86.1%	4079	89.2%	.558	○
	6 例未満	501	10.9%	5	13.9%	496	10.8%		
動悸	6 例以上	941	87.4%	20	90.9%	921	87.3%	.614	○
	6 例未満	136	12.6%	2	9.1%	134	12.7%		
呼吸困難	6 例以上	4249	92.1%	34	94.4%	4215	92.1%	.605	○
	6 例未満	363	7.9%	2	5.6%	361	7.9%		
咳・痰	6 例以上	1010	93.8%	22	100.0%	988	93.6%	.222	○
	6 例未満	67	6.2%	0	.0%	67	6.4%		

項目		全体		3000 以下		3001 以上		p-value	
嘔気・嘔吐	6 例以上	1018	94.4%	22	100.0%	996	94.3%	.250	○
	6 例未満	60	5.6%	0	.0%	60	5.7%		
腹痛	6 例以上	4328	93.8%	36	100.0%	4292	93.8%	.122	○
	6 例未満	285	6.2%	0	.0%	285	6.2%		
便通異常(下痢、便秘)	6 例以上	1027	95.3%	22	100.0%	1005	95.2%	.291	○
	6 例未満	51	4.7%	0	.0%	51	4.8%		
腰痛	6 例以上	4034	87.5%	36	100.0%	3998	87.4%	.023	S
	6 例未満	577	12.5%	0	.0%	577	12.6%		
四肢のしびれ	6 例以上	835	77.5%	16	72.7%	819	77.6%	.586	○
	6 例未満	242	22.5%	6	27.3%	236	22.4%		
血尿	6 例以上	833	77.5%	17	77.3%	816	77.5%	.980	○
	6 例未満	242	22.5%	5	22.7%	237	22.5%		
排尿障害(尿失禁・排尿困難)	6 例以上	3710	80.5%	33	91.7%	3677	80.4%	.090	○
	6 例未満	897	19.5%	3	8.3%	894	19.6%		
不安・抑うつ	6 例以上	3577	77.7%	30	83.3%	3547	77.6%	.414	○
	6 例未満	1027	22.3%	6	16.7%	1021	22.4%		
心肺停止	6 例以上	3855	83.7%	30	83.3%	3825	83.7%	.951	○
	6 例未満	750	16.3%	6	16.7%	744	16.3%		
ショック	6 例以上	3751	81.5%	28	77.8%	3723	81.5%	.569	○
	6 例未満	854	18.5%	8	22.2%	846	18.5%		
意識障害	6 例以上	4094	88.8%	31	86.1%	4063	88.8%	.604	○
	6 例未満	515	11.2%	5	13.9%	510	11.2%		
脳血管障害	6 例以上	3885	84.3%	31	86.1%	3854	84.3%	.770	○
	6 例未満	721	15.7%	5	13.9%	716	15.7%		
急性心不全	6 例以上	902	83.8%	19	86.4%	883	83.7%	.737	○
	6 例未満	175	16.2%	3	13.6%	172	16.3%		
急性冠症候群	6 例以上	853	79.2%	13	59.1%	840	79.6%	.019	L
	6 例未満	224	20.8%	9	40.9%	215	20.4%		

項目		全体		3000 以下		3001 以上		p-value	
急性腹症	6 例以上	3949	85.7%	33	91.7%	3916	85.7%	.306	○
	6 例未満	658	14.3%	3	8.3%	655	14.3%		
急性消化管出血	6 例以上	845	78.5%	19	86.4%	826	78.3%	.362	○
	6 例未満	232	21.5%	3	13.6%	229	21.7%		
外傷	6 例以上	3879	84.2%	32	88.9%	3847	84.1%	.437	○
	6 例未満	729	15.8%	4	11.1%	725	15.9%		
急性中毒	6 例以上	599	55.7%	12	54.5%	587	55.7%	.911	○
	6 例未満	476	44.3%	10	45.5%	466	44.3%		
誤飲、誤嚥	6 例以上	723	67.3%	15	68.2%	708	67.3%	.930	○
	6 例未満	351	32.7%	7	31.8%	344	32.7%		
熱傷	6 例以上	445	41.4%	10	45.5%	435	41.3%	.693	○
	6 例未満	631	58.6%	12	54.5%	619	58.7%		
自殺企図	6 例以上	335	38.7%	7	36.8%	328	38.7%	.868	○
	6 例未満	531	61.3%	12	63.2%	519	61.3%		
貧血(鉄欠乏性貧血、二次性貧血)	6 例以上	983	91.5%	18	85.7%	965	91.6%	.334	○
	6 例未満	91	8.5%	3	14.3%	88	8.4%		
脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)	6 例以上	3809	82.7%	33	94.3%	3776	82.6%	.069	○
	6 例未満	795	17.3%	2	5.7%	793	17.4%		
湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)	6 例以上	800	74.5%	15	71.4%	785	74.5%	.745	○
	6 例未満	274	25.5%	6	28.6%	268	25.5%		
蕁麻疹	6 例以上	3368	73.2%	23	65.7%	3345	73.2%	.317	○
	6 例未満	1234	26.8%	12	34.3%	1222	26.8%		
皮膚感染症	6 例以上	671	62.5%	13	61.9%	658	62.5%	.952	○
	6 例未満	402	37.5%	8	38.1%	394	37.5%		
骨折	6 例以上	3365	73.1%	31	88.6%	3334	73.0%	.038	S
	6 例未満	1240	26.9%	4	11.4%	1236	27.0%		
関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷	6 例以上	2655	57.7%	23	65.7%	2632	57.6%	.336	○
	6 例未満	1946	42.3%	12	34.3%	1934	42.4%		

項目		全体		3000 以下		3001 以上		p-value	
骨粗鬆症	6 例以上	747	69.6%	16	76.2%	731	69.4%	.504	○
	6 例未満	327	30.4%	5	23.8%	322	30.6%		
脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)	6 例以上	632	58.9%	13	61.9%	619	58.8%	.777	○
	6 例未満	441	41.1%	8	38.1%	433	41.2%		
心不全	6 例以上	4073	88.5%	32	91.4%	4041	88.4%	.582	○
	6 例未満	531	11.5%	3	8.6%	528	11.6%		
狭心症、心筋梗塞	6 例以上	3927	85.3%	26	74.3%	3901	85.3%	.066	○
	6 例未満	679	14.7%	9	25.7%	670	14.7%		
不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)	6 例以上	920	85.8%	19	90.5%	901	85.7%	.537	○
	6 例未満	152	14.2%	2	9.5%	150	14.3%		
動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)	6 例以上	904	84.2%	14	66.7%	890	84.5%	.026	L
	6 例未満	170	15.8%	7	33.3%	163	15.5%		
高血圧症(本態性、二次性高血圧症)	6 例以上	4311	93.7%	33	94.3%	4278	93.7%	.878	○
	6 例未満	292	6.3%	2	5.7%	290	6.3%		
呼吸不全	6 例以上	964	89.8%	21	100.0%	943	89.6%	.120	○
	6 例未満	109	10.2%	0	.0%	109	10.4%		
呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎)	6 例以上	1000	93.1%	21	100.0%	979	93.0%	.208	○
	6 例未満	74	6.9%	0	.0%	74	7.0%		
閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症)	6 例以上	929	86.5%	20	95.2%	909	86.3%	.237	○
	6 例未満	145	13.5%	1	4.8%	144	13.7%		
食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎)	6 例以上	958	89.2%	20	95.2%	938	89.1%	.368	○
	6 例未満	116	10.8%	1	4.8%	115	10.9%		
小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻)	6 例以上	4030	87.6%	33	94.3%	3997	87.6%	.229	○
	6 例未満	570	12.4%	2	5.7%	568	12.4%		
肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害)	6 例以上	3889	84.5%	32	91.4%	3857	84.5%	.258	○
	6 例未満	711	15.5%	3	8.6%	708	15.5%		
横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア)	6 例以上	829	77.3%	18	85.7%	811	77.2%	.354	○
	6 例未満	243	22.7%	3	14.3%	240	22.8%		

項目		全体		3000 以下		3001 以上		p-value	
腎不全(急性・慢性腎不全、透析)	6 例以上	875	81.5%	17	81.0%	858	81.6%	.943	○
	6 例未満	198	18.5%	4	19.0%	194	18.4%		
泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症)	6 例以上	857	79.9%	19	90.5%	838	79.7%	.221	○
	6 例未満	216	20.1%	2	9.5%	214	20.3%		
妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥)	6 例以上	2710	58.9%	28	80.0%	2682	58.7%	.011	S
	6 例未満	1892	41.1%	7	20.0%	1885	41.3%		
男性生殖器疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍)	6 例以上	1898	41.3%	18	51.4%	1880	41.2%	.220	○
	6 例未満	2702	58.7%	17	48.6%	2685	58.8%		
糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)	6 例以上	4246	92.2%	33	94.3%	4213	92.2%	.645	○
	6 例未満	359	7.8%	2	5.7%	357	7.8%		
高脂血症	6 例以上	4157	90.4%	34	97.1%	4123	90.4%	.175	○
	6 例未満	440	9.6%	1	2.9%	439	9.6%		
屈折異常(近視、遠視、乱視)	6 例以上	343	32.0%	9	42.9%	334	31.8%	.281	○
	6 例未満	729	68.0%	12	57.1%	717	68.2%		
角結膜炎	6 例以上	1302	28.3%	9	25.7%	1293	28.3%	.731	○
	6 例未満	3295	71.7%	26	74.3%	3269	71.7%		
白内障	6 例以上	516	48.1%	12	57.1%	504	47.9%	.402	○
	6 例未満	557	51.9%	9	42.9%	548	52.1%		
緑内障	6 例以上	1040	22.6%	9	25.7%	1031	22.6%	.657	○
	6 例未満	3564	77.4%	26	74.3%	3538	77.4%		
中耳炎	6 例以上	493	45.9%	10	47.6%	483	45.9%	.877	○
	6 例未満	580	54.1%	11	52.4%	569	54.1%		
アレルギー性鼻炎	6 例以上	656	61.1%	15	71.4%	641	60.9%	.328	○
	6 例未満	417	38.9%	6	28.6%	411	39.1%		
認知障害(血管性認知障害を含む)	6 例以上	3684	80.0%	31	88.6%	3653	80.0%	.204	○
	6 例未満	920	20.0%	4	11.4%	916	20.0%		
うつ病	6 例以上	3050	66.3%	21	60.0%	3029	66.4%	.428	○
	6 例未満	1550	33.7%	14	40.0%	1536	33.6%		

項目		全体	3000 以下	3001 以上	p-value				
統合失調症	6 例以上	512	47.8%	8	38.1%	504	48.0%	.368	○
	6 例未満	559	52.2%	13	61.9%	546	52.0%		
身体表現性障害、ストレス関連障害	6 例以上	471	44.0%	11	52.4%	460	43.8%	.433	○
	6 例未満	600	56.0%	10	47.6%	590	56.2%		
ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎)	6 例以上	3866	84.0%	32	91.4%	3834	83.9%	.228	○
	6 例未満	737	16.0%	3	8.6%	734	16.1%		
細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A 群連鎖球菌、クラミジア)	6 例以上	4075	88.7%	30	85.7%	4045	88.7%	.581	○
	6 例未満	521	11.3%	5	14.3%	516	11.3%		
結核	6 例以上	263	24.6%	4	19.0%	259	24.7%	.549	○
	6 例未満	805	75.4%	17	81.0%	788	75.3%		
慢性関節リウマチ	6 例以上	458	42.9%	14	66.7%	444	42.4%	.026	S
	6 例未満	609	57.1%	7	33.3%	602	57.6%		
アレルギー疾患	6 例以上	743	69.6%	15	71.4%	728	69.5%	.852	○
	6 例未満	325	30.4%	6	28.6%	319	30.5%		
熱傷	6 例以上	427	40.0%	11	52.4%	416	39.7%	.241	○
	6 例未満	641	60.0%	10	47.6%	631	60.3%		
小児けいれん性疾患	6 例以上	443	41.6%	7	33.3%	436	41.7%	.440	○
	6 例未満	623	58.4%	14	66.7%	609	58.3%		
小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ)	6 例以上	2929	63.7%	26	74.3%	2903	63.6%	.192	○
	6 例未満	1668	36.3%	9	25.7%	1659	36.4%		
小児喘息	6 例以上	567	53.2%	12	57.1%	555	53.2%	.717	○
	6 例未満	498	46.8%	9	42.9%	489	46.8%		
高齢者の栄養摂取障害	6 例以上	872	81.9%	19	90.5%	853	81.7%	.302	○
	6 例未満	193	18.1%	2	9.5%	191	18.3%		
老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)	6 例以上	4118	89.6%	33	94.3%	4085	89.6%	.362	○
	6 例未満	478	10.4%	2	5.7%	476	10.4%		
死亡診断書	6 例以上	415	38.9%	14	66.7%	401	38.3%	.008	S
	6 例未満	652	61.1%	7	33.3%	645	61.7%		

項目		全体		3000 以下		3001 以上		p-value	
死体検案書	6 例以上	141	13.2%	3	14.3%	138	13.2%	.886	○
	6 例未満	924	86.8%	18	85.7%	906	86.8%		
CPC レポート (剖検報告)	6 例以上	52	4.9%	1	4.8%	51	4.9%	.982	○
	6 例未満	1016	95.1%	20	95.2%	996	95.1%		
紹介状	6 例以上	927	86.8%	21	100.0%	906	86.5%	.071	○
	6 例未満	141	13.2%	0	.0%	141	13.5%		